

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	教 育 長	教育次長	事 務 長	担 当 等

報告日：令和 7 年 2 月 18 日

名 称	令和 6 年度 第 2 回 鹿沼市立川上澄生美術館運営委員会
日 時	令和 7 年 2 月 14 日（木）午前 13 時 30 分～14 時 30 分
場 所	鹿沼市民情報センター 学習室 2
出 席 者	運営委員：高橋進委員長、伊藤伸子副委員長、飯野明美委員、藤田義昭委員、有坂隆二委員、中西泉美委員、竹澤英明委員 （欠席者：原和雄委員、伊藤渉委員、秋澤一彦委員） 事 務 局：中村仁教育長、郷昭裕教育次長、橋本礼子事務長、相澤美貴主事 （欠席者：齋藤千明館長、臼井佐知子主査）
内容及び 結果等	1. 開 会 司会（橋本事務長） 2. あいさつ（中村教育長） 3. 委員紹介⇒委員紹介は省略した 4. 議事進行 高橋委員長を議長として議事を進行をした。 (1) 令和 6 年度 事業報告について ⇒「資料 1」に沿って相澤主事が報告を行った。 【意見】 (高橋委員長)「婀娜なる和装美展」は、変わった視点から展示を行っていた。詩が大きく掲示されていたが、とても川上澄生らしかった。 (有坂)「婀娜なる和装美展」について出品作品で協力したが、今までに無い川上澄生の展示だった。そちらも適切に展示されていた。文字だけでも良いので、出品目録だけでなくカタログもあると良い。 (伊藤 [伸]) 友の会主催の「雲?雲!!雲!! の百面相展」ギャラリートークは、美術館から友の会に協賛は行ったか。 (相澤) 美術館からは費用的な面では援助は無く、友の会にご負担頂いた。企画と講師の調整等は美術館が行った。令和 7 年度も友の会主催イベントを実施予定だが、そちらは友の会主導で行う予定である。 (竹澤) 水仙まつりでの花木センターへの協力について、協力を行うのは今年が初めてか。 (相澤) 美術館としては初めてである。ただし、昨年度に文化課の地域おこし協力隊が、園芸フェアで芸術面の支援を行った。 (藤田) 2 月 16 日に文化活動交流館の芝生で実施するイベント（meet with KANUMA が実施した芸術イベント）と重なるものがある。一緒に協力しながら何か行っていけると良い。 （民間で実施している）栗野のアートフェスの時に友の会として出店して委託販売をしてはどうか。 また、市で川上澄生を活かしたグッズを制作してはどうか。 (中西) グッズ制作は友の会で少しずつ進めている。

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	教 育 長	教育次長	事 務 長	担 当 等

	(有坂) (川上澄生を扱うという意味で) 個人美術館ながらも、市民の自主的な活動も盛んであり、ビエンナーレで版画コンクールを行うなど、広い視野で活動している。上手く個人美術館の限界を乗り越えて、どう対応していくかが必要。 (2) 令和7年度 事業中間報告について ⇒「資料2」に沿って相澤主事が報告を行った。 (高橋) 館内 wifi はどのくらいの予算が取れそうか。 (橋本) 市として導入の順番待ちの状態である。コミュニティセンターを優先して入れるとのこと。 (竹澤) 確かに必要。QR コードを読み込むことで、その場で(絵の)説明をすることができる。 (飯野) 前回、広報についてチラシの活用の話が出たが、訪問授業で学校に来て頂いた時に美術館について案内をしたところ、生徒が皆驚いていた。チラシよりも、直接来ていただいた時に案内して頂いた方が良いのでは。 (有坂) 展示室の監視カメラが2階に無い。貴重な作品が触れる距離に有り危険である。 (相澤) カメラ増設のために見積を取ったが、予算の問題で来年度は断念した。 (中西) 来館者数が増えて美術館の収益が増えると、予算の増額につながるか。 (竹澤) 収益が増えれば予算増額につながる。 (竹澤) 友の会の広報について、市の定例記者会見では「輝く鹿沼のチカラ」として、民間団体が自分たちでPRできる場がある。これを活用できるのではないか。 (4) その他 竹澤委員から、2月17日に花木センターで実施される「いちごのもり」イベントの案内があった。			
	7. 閉会			
配布資料	「令和6年度 第2回 川上澄生美術館運営委員会」			
次回予定	令和7年8月7日			
記 録 者	相澤			
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)				
公開・非公開の別	公 開	・	非公開	(公開の場合) 傍聴人数 0 人